

個人山行報告書

通算山行NO	No. 330B	報告者	中村圭吾
年 月 日	2006年10月28日(土・晴)		
山 名	天城連峰・猿山(1001.01m)		
2万5千図	仁科・土肥		
温 泉	大川温泉「山の家」500円		
体力度=4・ややきつい 技術度=4・やや難しい 読図=下降は非常に難しい 藪漕=ややある 道標=全く無い 頂上の展望=無い トイレ=無い 携帯=部分OK			
<b>猿山の未踏ルートを歩く</b>			
コースと タイム	長泉町6:00—仁科峠—宮ヶ原—猿山南890m峰西尾根取付8:00—林道—890m峰—猿山10:15~11:30—猿山北962m峰西尾根—宮ヶ原		
標 高 差	上り 宮ヶ原約350m~猿山1001m=約650m 下り 同上		
参 加 者	CL・後藤隆徳(59)、中村圭吾、ほか2名		

後藤さんの伊豆地域研究・猿山西面に誘われたので参加する。快晴の土曜日、これで猿山は2回目の挑戦だった。前は大鍋川の東面から上った。頂上には、すばらしいブナなどが沢山あったことを記憶している。仁科峠から狭い林道を下り宮ヶ原集落の上部の名郷橋の近くに車を駐車し、橋の末端の尾根から登山開始。いきなり猛烈な藪漕が始まる。本日の体力に不安がよぎる。

8時50分、標高680m付近で、巨大な縦の木を発見。縦は自然環境に敏感と教わる。順調に高度を稼ぐも、登山道ではない為に、非常に負担がかかる。9時30分、830メートルのコル(?)に到着。見晴らしはない。地図読みの力がないので830mコルか890mコルか、はっきりしない。小さなピークが数回あり、判断に迷う。登山道ではないので、とんでもなく不安になる。それでも10時15分には、頂上平原に着いた。

すばらしいブナ等の巨木が、たくさんあり、この山のよさを再確認する。1時間以上かけて、昼食をとる。樹木の木漏れ日が気持ちいい。シートの上に横になり、男4人で贅沢な時間を堪能した。我々以外、誰とも出会わない。

猿山のブナの実の巨大さに驚いた。先週の位牌岳の実より、かなり大きい。下山開始、猿山を左に回りこんで、目指す下山尾根を探す。方角的には、間違いはないのであるが、地図上の等高線の間隔が、現在地と合致しない。付近を探索すること、30分、最終的に最初に見つけた尾根でいいことになった。何度も登り返し、非常に疲れた。地図読みは、熟練度がある。

猛烈な角度での下山が始まる。ホトホト疲れた。13時半に林道にでたが、予想より左側に下山してしまったことが判明。下る尾根を間違えた。林道を戻り、さらに下山を継続す。沢を越え、駐車した林道に到着。

湯が島温泉「世古の大湯」にて、本日の汗を流した。全体を通じて、地図読みの難しさ、最低必要装備(コンパス、懐中電灯等)の重要性、体調管理の必要を再認識させられた。自分にとっては、かなりシンドイ山行であった。



地理院地図 (電子国土Web)

